

- 1 日時 平成30年1月27日(土) 午後2時～3時半
- 2 場所 市民ホール谷田部2階会議室
- 3 出席者 都市計画部部长, 次長, 都市計画課長, 公共施設跡地利用室長, 室員 2名
- 4 参加者 17名

5 内容

(1) 開会

(2) 職員紹介

(3) 調査結果

(1) 庁内利活用意向調査の結果について

(2) サウンディング型市場調査の結果について

(1)(2)について、別紙説明会資料及び実施結果一覧を用いて、説明した。

(4) 意見交換 (●:参加者, ○:市)

●観音台では車に乗れない方が増えている。交通網をどうリンクさせていくのか。近隣だけでなく、周辺広域への影響を考えてほしい。

⇒○部内の総合交通政策課では現在、つくバス、つくタクの交通体系の見直しを行っている。鉄道や路線バスを補完するものとして検討を行っている。つくバスについては、跡地をリンクさせることを含めて考えていく。交通計画に合わせて、施設を誘致するところまでは考えていない。

●保育所をテナントに入れる案は、老朽化が激しい上横場保育所の建て替えの対応に使えるのではないか。

●アッセ内にもバス停を設置してほしい。旧市街地にも頑張っている商店(魚、肉、クリーニングなど)がある。商業施設の際は、競合しないようにしてほしい。

●庁舎跡地には、記念碑や万博パビリオン休憩室(千歳通ボランティア倉庫)がある。過去の歴史を踏まえて検討を進めてほしい。

⇒○調査要領には、記念碑や倉庫の場所は、利活用提案用地からは除いてある。しかし、角地である記念碑に関する調整について、事業者からの要望もあった。要領では、バスロータリー機能を残し、地域に貢献する提案の募集を行った。

●隣接する谷田部小学校と共存する様にしてほしい。区会では、市民プール(学校プールの活用も含む)を要望している。

●具体的な話であれば、スピード感をもって進めてほしい。私ももうすぐ買い物難民になりうる。

⇒○商業施設提案事業者はどれも、別店舗を数多く運営しており、実現性

は高いと考えている。利活用方策決定に向けては、地元調整などの丁寧さとスピード感を意識して進めていきたい。

- 若い人の意見を聞く仕組みをどのように考えているか。若い世代は区会に入りたがらないし、HPも見ない。区会、HP、市報とも若い世代向けには適していない気がする。

⇒○この様なさまざまな意見を直接聞くことが意見交換の趣旨である。若い世代には、駅通勤者向けの掲示やつくバス内の掲示等、工夫を検討したい。

- わざわざこの場所にスーパーを作らなくても、人が集まるような魅力的なコンテンツがあれば、スーパーは周辺に出店してくるのではないか。魅力的なコンテンツが何かは断言できないが、谷田部地区の人は、高校の進学先に悩んでいる。市外や竹園など、谷田部を離れてしまう。新設校が難しいのであれば、並木中等教育学校の分校なら可能性が出てくるのではないか。

(5) 閉会